

中川ただあき[県政通信]

Water 水

第11号

Nakagawa Tadaaki Kensei Tsushin

《ウォーター》

●発行日／平成16年8月1日 ●発行所／中川ただあき後援会事務所



▲中川ただあき後援会総会にて新旧役員と結束を誓って

大変暑い夏を迎えていますが、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

皆様のお陰で元気に働かせていただいておりますことに対し、深く感謝申し上げますとともに、心から厚くお礼申し上げます。

7月には参議院選挙があり皆様のお陰で河合常則氏が初当選いたしました。心から厚く御礼申し上げます。年金とイラク問題が争点になりましたが、政党間の争合戦の様相で議論の薄い選挙であったような気がしています。「負担は高く、給付は低く」誰でも反対でしょう。しかし、少子化、高齢化という現実を見たときに、いつまでこのようなことを言つていられるのか。お互い真摯に冷静に考える時であります。

行政サービスの多様化と質の高さを求めるにはお金がかかります。その原資は税金であります。その税金は経済活動があつて成り立つものです。それを支えるのは人であります。その使い道を考えるのも人であります。その人の教育のあり方を今一度考え直さなければなりません。三位一体改革の中で義務教育費国庫負担金の取り扱いが議論されていますが、残念なことに省益優先が頭をもたげてきています。元々は地方の裁量と責任で特色ある教育をするべきという地方の発想で出発したことであります。ここは原点に戻り地方議員として頑張りたいと思っていますので今後とも、皆様方のより一層のご指導ご支援をお願い申し上げます。

まだまだ暑い日が続きますが、皆様方の益々のご健勝ご多幸を心よりお祈り申し上げ、あいさついたします。

平成16年8月吉日

富山県議会議員

中川忠昭

まちづくり
ひとづくり

産業観光といふ新しい視点。



産業観光という言葉をご存じだろうか。交通経済用語辞典によれば「産業の内容を対象とする観光」。自然文化社会などの観光資源と並んで、重要な観光資源の一つであり、工場、工業施設、農業施設などを内容とするものである。また、産業遺物、産業機器などを地域の光として打ち出し、それらを情報発信することであり、これらを見て、その意味を理解することによって人生をより豊かなものにすると共に、人的交流を図り、新しい文化を生み出す。さらに「ものづくり」への発展にも繋がることになるなど、注目すべきと考えます。

このような観点で富山県を見ればどうだろう。全国の人々に親しまれている壳薬は印刷、デザイン、銀行、製薬など様々な産業の発展を生んだ。災いを福に転じた治水一砂防技術の発展と河川総合開発による発電、さらにはその電力を活用した化学工業、アルミ関連の発展。金型、金属加工、情報産業など本県には特筆すべきものが多い。また、世界に誇る氷見の定置網などもそうだ。本県水

田農業を支える日本初の農業用水の合口化事業、さらに富山運河も産業発展を語るには見逃せない。

産業観光的な取り組みは、県内でもないわけではない。まずの寿司や薬の製造過程、ファスナーなど見学できる工場をはじめ、銅器、漆器、彫刻、木工品などの伝統工芸品作りを見学体験できる施設もある。しかし、これをひとつひとつ見るのもいいが、もっと系統立てて見せることができないものだろうか。

富山の産業は、いろいろなところでつながっている。系統立てて見ることによって、どのような産業がどのように発展していくのか見えてくる。こうすることによって、歴史をより深く理解できるばかりか、若い人たちにものづくりの面白さを感じてもらえるだろう。まちづくりのためにも、人づくりのためにも、地域の産業を系統立てて観光に結びつけることが大切だ。

兵庫県や愛知県などでは、このような取り組みを商工会議所が中心となって行っている。例えば商工会議所に「産業ツーリズムアドバイザー」を配置し、企業が産業観光に目を開いてくれるよう、県の支援を受けて取り組んでいる。本県でも、これらの事例を参考にしながら、独自の視点に立っての研究、検討することを迫った。

———— 商工労働常任委員会にて



商工労働常任委員会 平成16年3月

仕事を求める人びとの立場に たった就職支援を！

就業意欲はあるが、希望する職種につきたいが必要な技能がない。そのような人のために、国でもさまざまなかたちで職業能力開発に取り組んでいる。中高年を中心とした離職者が主な対象だ。

富山県においても、雇用・能力開発機構などによって、職能開発を支援する体制が整えられている。例えば県立の技術専門学院や職業能力開発センターなどであるが、今年度の予算でも9億円余りが投じられた。けれども、これだけの予算に見合った効果が、果たして出ているのだろうか？仕事を求める人びとの立場にたって、本当に役立つ支援体制を確立しなければならない。



中川●県立の技術専門学院と職業能力開発センターの募集状況、入校者の年代別構成、そして就職状況は、どうなっているのか？

栗林職業能力開発課長◆技術専門学院の定員は80名で、15年度は応募者252名に対し入校者は83名でした。また、富山、黒部、福野の職業能力開発センターの15年度の総定員は435名で、応募者743名に対し入校者は453名でした。年代別構成ですが、技術専門学院は高校新卒を対象としています。職業能力開発センターは15年度訓練生の平均年齢が42.3歳で、20歳から29歳が27.2%、30歳から44歳が25.2%、45歳から54歳が16.3%、55歳以上が31%となっています。15年度の

就職率については、技術専門学院が97.4%、職業訓練センターのほうは後期の方がまだはっきりとていませんが、大体60%くらいになると予想しています。

中川●訓練を受けている人の中には、趣味を兼ねてる人もいるようだが、本当に就職する意欲のある人が、入りたくても入れない状況になっているのではないか？

栗林◆入校に際しては、ハローワークで面接を行って、本人の意欲や希望をふまえながら、どの訓練科へ進むのが良いかという受講指示を行っています。

中川●大切なのは、訓練を受けた後である。後になって、希望する

仕事と、身に付けた技術とのミスマッチが起きていないか？能力開発を行った後も、ハローワークとしっかり連携をとりながら、就職を斡旋していくべきではないか？

栗林◆各センターでは、訓練生に就職相談票を書いてもらい、それをもとにハローワークで就職相談をしてもらうシステムになっています。また、各センター独自の就職情報を作り、ハローワークの窓口に置いてもらうなどの連携を図っています。さらに、富山と福野のセンターには巡回指導員がいて、技術専門学院と各センターへの求人開拓に取り組んでいます。

中川●今日、若者の技能離れ、熟練技能者の高齢化が進んでい

る。伝統ある技術を継承していくためには、さまざまな支援が必要かと思うが、何か取り組みを行っているのか?

栗林◆県でも、これまでに高度熟練者のデータベースやさまざまな職種の教則本・ビデオなどを作成して、関係団体や企業に配付しております。特に14年度からは富山の名匠という認定制度を設けました。そして、技能塾というものを開催し、職業能力開発校の訓練生や工業高校の生徒などに対する指導も行っています。これは、技能の伝承にも対応しています。また、技能者の全国大会がありますが、これに出場するための助成や訓練強化のための助成を行っているほか、国際大会で活躍した方などから指導してもらう若きリーダー養成事業なども計画しています。

中川●さまざまな取り組みを行っているのはわかるが、現代の名工にランクされている人は、富山県で5名。この数は、全国第33位である。まだまだ力が入ってないのではないか。産業能力開発協会なども、若い人が物づくりにチャレンジできるような支援活動に、前向きに取り組んでいるのか?

栗林◆現代の名工にランクされるのは、技能五輪全国大会の優勝者数です。愛知や東京などの方が多いわけですが、なぜ多いのかと申しますと、例えばトヨタ、日産、東芝などでは、自社で職業訓練校のようなものをつくって、若い人を

養成しているからです。そういうところにはなかなか太刀打ちできませんが、県でも若きリーダー養成事業によって対応したいと考えています。それから協会では、いま準備を進めていますが、もうすぐホームページを開設する予定です。現在、県の職能課のホームページから各熟練技能者のところにアクセスできるようになっていますが、このデータベースを協会のホームページに移行し、さまざまなサイトとリンクするかたちで整備したいと考えています。

中川●私も、そのホームページを開いてみたが、高度熟練技能者の方のリストが出てるだけではないか。若い技能者を養成しようという気持ちが伝わってこない。そのあたりを、もう一度見直して取り組んでいただきたい。



今年も子どもたちと田植えをしました!



ものづくりへの挑戦!

このほかの質問事項

上海便について

■富山県では土木部が上海便の運航に向けて取り組んでいるようだが、ひとつの部だけでやるのではなく、関係する機関が横断的に協力あって、総合力で取り組むことが大切である。商工労働部としては、これまでどのような取り組みをしてきたのか。

■上海世界旅遊源博覧会に出典されたようだが、そのPR状況、内容、成果はどうだったのか。

■北陸三県で、もっと連携をとって仕事ができないのか。

■さまざまな協議会や懇談会が設けられているが、まったく機能していないのではないか。

公共職業訓練校の紹介

【県立】

●技術専門学院(富山市)
普通職業訓練期間／2年

●職業能力開発センター
(富山市、黒部市、福野町)
普通職業訓練期間／2～6ヶ月

【雇用・能力開発機構立】

●北陸職業能力開発大学校(魚津市)
高度職業訓練期間／2年

●富山職業能力開発促進センター(高岡市)
普通職業訓練期間／1～6ヶ月

学科や定員など、詳しい内容についてのお問い合わせはこちら!

●富山県職業能力開発課
TEL. 076(444)3259
FAX. 076(444)4406
<http://www.pref.toyama.jp/sections/1305/1305.htm>



予算特別委員会 平成16年3月

公営電気事業者にとって、電力の自由化はビジネスチャンス！

公営電気事業は、昭和27年から始まった事業で、富山県が河川総合開発の一環として取り組んでいる。現在、井田川、上市川、小矢部川、和田川の4水系で、大長谷第一発電所をはじめとする16の水力発電所が稼動しており、合計最大出力は約14万キロワット。全国の公営電気事業のなかでもトップクラスの規模だ。この電力は、電力会社が購入し、各家庭や事業所などに供給されている。

事業収益は、今のところ黒字となってはいるが、今後は厳しくなると思われる。電力の自由化が進むことで、どの電力会社もコスト削減を図り、これまで県から購入していた電力に対しても値下げ要求を強めてくることが予想されるからだ。このような状況に対応していくためには、公営電気事業の見直しをする必要がある。電力の自由化をビジネスチャンスとして捉える発想の転換が大切であろう。

中川●電力の自由化によって、どのような影響が出ているのか？

堀内企業局長◆ひとつは、経済産業省が定める卸供給料金算定期定規が改定され、事業報酬の算定期定方式が変更になりました。これまでのような利益を確保するのが困難になっています。また、平成21年までは北陸電力への売電契約がありますが、22年以降の売電については保証されていません。そして、電力会社では徹底した経営コスト削減に取り組んでおり、県の電気事業に対してもコスト削減を求めてきています。厳しい状況であると認識しています。

中川●平成13年度に、老朽化のために大長谷第一発電所が更新された。これからも、このような設備が増えてくると思うが、施設の更新や修繕についてはどのように考えているのか？

堀内◆大長谷第一発電所のように発電所自体を更新する計画は、今のところありません。しかし、企業局の発電所は、昭和30年代から40年代にかけて建設されたものが多く、部分的に老朽化している装置も見受けられるため、計画的な設備の更新に努めています。今後も、定期的なオーバーホールや日常の保守点検をきめ細かく

行うなど、良好な維持管理に努めます。

中川●全国の公営電気事業を比較してみると、富山県はとくに人件費が高いようだ。これについては、どのように考えているのか？

堀内◆本県の人件費が高いのは、業務に従事する職員の年齢が高いためでもあります。これらの職員が、一挙に退職することも考えられるので、それに備えて平成13年度から退職給与引当金を増額しました。これまで、16発電所に係わる運転監視制御の一極集中化や監視業務の近代化などによって、人員の削減を図ってきましたが、今後は外部委託の推進や組織の統廃合などによって人員配置を見直し、人件費の抑制に努めます。

中川●北陸電力の料金は年々下がっているが、この傾向が続ければ、公営電気事業の収益も落ちてくるだろう。経営の見通しについては、どのように考えているのか？

堀内◆電気事業における料金単価は、2年ごとに公開しています。平成11年と12年度に1キロワットアワー当たり8円80銭だったものが、平成15年度には8円9銭となりました。電力会社のコスト削減や、事業報酬の算定期定方式の変更などの影響で、単価は下がっています。電力の卸供給料金についても、以前と比べて低いといえますが、異常渴水などによって発生電力量が大幅に下回ることがない限り、

一定の事業収益を確保できます。

中川●事業収益はある程度確保できるとのことだが、さらに切り詰められるという認識に立たないといけないのではないか。資本費は46~48%で全国平均を上回っているが、設備の更新やオーバーホールなどの費用もかかる。また、それをやれば企業債を使わなければならない。設備が更新されれば減価償却費も上がってくる。キャッシュフローの面で、赤字になることも考えておく必要があるだろう。北陸電力に電力を買ってもらえる21年度までとそれ以降の経営見通しについて、どのように考えているのか?

堀内◆21年度までは何とか事業収益を確保できると見込んでいますが、22年度以降については、現時点を見通し立てるのは難しい。ただ、今後の経営に大きな影響を及ぼす資本費については、そのうちの減価償却費について早期に償却するよう進めています。また、毎年、企業債の償還金というのがありますが、これが内部留保される減価償却費を下回っています。これまでにも内部留保資金を確保しておりますので、22年度以降も極端に経営が悪化することは考えられません。けれども、あらゆる情報を集めて見通し立て、経営の健全化に努めます。

中川●ところで、県庁舎の年間の電力使用量は、どれくらいになるのか?

齋田経営企画部長◆平成14年度の実績で、372万6,528キロワット、電気料金にしますと6,900万円余りになっています。

中川●恐らく、県の施設などを全部合わせると、相当の金額になるのではないかと思う。経済産業省などのように、庁舎で使う電力を一般電気事業者以外も含めた入札方式で決めて、電気料金を削減した例もあるようだが、本県でも検討してはどうか?

齋田◆その件については承知しております。県庁舎についても契約方法の見直しを検討しました。けれども、北陸電力の管内では、現在のところ特定規模の電気事業者による営業活動は全く行われておりません。また、北陸電力との契約料金は16円ですが、これは全国の一般電気事業者の中でも最も安い料金です。

中川●北陸電力の料金が安いのはわかる。私がお聞きしたいのは、ビジネスチャンスがあるのではないか、ということである。北陸電力より安いのが、企業局の電力なのだから、競争意識を持って取り組んでほしい。例えば、22年度以降は、県庁や公共施設などに売電することも可能ではないのか?

堀内企業局長◆県の施設への売電を考えた場合、企業局では送電線を持っていないため、北陸電力の送電線を使うことになります。そうなると、新たに託送料が発

生するため、他の事業者とコスト面で競争できるかどうかが課題になります。また、県の施設へ売電した場合、余った電力はどこかに売らなければなりません。しかし、この余剰電力の料金は極端に低く、ペイできない状況になるため、成り立たないのかなと考えます。けれども、22年以降については、ご指摘の点も充分考慮しながら取り組みます。

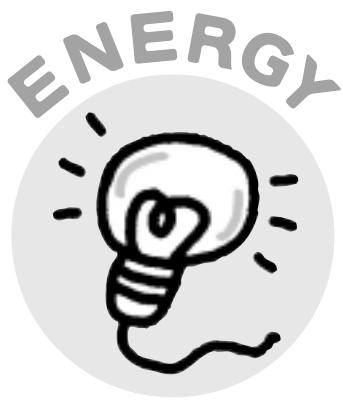
このほかの質問事項

県警の捜査報償費について

■捜査報償費は、税金でまかなわれている。個人の秘密を厳守することはもちろん大切だが、警察の信頼、信用のためにも、透明性を確保する方針でいくべきではないか。

新エネルギー導入について

■新エネルギーアクションプラン策定後の取組状況について、普及啓発活動はどのような体制で推進してきたのか。庁内の関係各課による「富山県新エネルギー推進プロジェクトチーム」会議などがあるが、実効あるものとなっているのか。また、風力発電が地形的に難しいのであれば、水力やバイオマス発電を主体にした目標を立てて推進すべきではないか。



この冊子は地球環境にやさしい
水無し印刷で作成しました。

次世代法を考える

昨年成立した次世代育成支援対策推進法(次世代法)は、企業に少子化対策の一端を担ってもらうためのものだ。従業員が301人以上の企業は、仕事と子育てを両立できるよう、どのような対策を取るか労働局へ届け出なければならない。

企業を挙げて、子供を生み育てやすい環境をつくることは、とても大切なことだ。しかし、各企業は積極的な姿勢を見せてはいるものの、具体的に何をどうすればいいか見当がつかないというのが現状である。

富山県でも、さまざまな対応を進めているが、大切なのは301人以上の企業だけではなく、すべての人が次世代法について真剣に考える環境づくりをすることだろう。そのためにも、まず初めに県や市町村が行動計画を作成するべきではないか。すでに厚生労働省では、行動計画を作成して取り組んでいる。

また、具体的な対策が分からぬ事業主のためにも、各地域でセミナーやフォーラムを開催してもよい。県としても、要望があれば専門のアドバイザーを派遣する考えのようだが、このようなセミナーを1回や2回で終わらせるのではなく、継続していくことがポイントになるだろう。富山県には、女性、高齢者、そして若者たちのいろいろな視点を踏まえて、努力してほしい。

農林水産部会○視察レポート

■森林発電プロジェクトの視察(H16年2月19日・20日)



木質バイオマスに取り組む「高取山ふれあい公園」(滋賀県)



■生活文化体験施設の視察(H16年5月31日)



ひだ森林たくみ館(岐阜県)



■静岡県の園芸の取り組み視察(H16年6月1日)



国際園芸博浜名湖花博

◎中川ただあきの主な活動

- 1.4 ●富山市ゲートボール練習初め
1.5 ●新春初顔あわせ●自民党政調会
1.6 ●富山市消防団出初式●富山ライオンズクラブ例会
1.8 ●議会運営委員会●自民党政調会
1.9 ●自民党政調会現地調査●山室地区補導委員会連絡協議会
1.10 ●長勢基遠を支える新春の集い●全国元気まちづくり機構総会
1.11 ●山室中部校下成人式・長政会新年会
1.12 ●新春のつどい
1.13 ●自衛隊新春互札会
1.14 ●自民党政調会
1.15 ●水橋家庭配置業組合
1.16 ●富山市遺族会新年会●森雅志懇談会
1.17 ●山室中部交通安全協会総会●民党水橋上条支部新年会
1.18 ●中川原高砂会新年会●長勢基遠・野上浩太郎国政報告会(町村)
1.19 ●自民党政調会●富山県美容業組合新年会
1.20 ●自民党政調会
1.21 ●水橋西部・三郷都市計画道路建設促進期成同盟会設立総会
1.22 ●自民党政調会
1.23 ●自民党正副部長会議●自民党議員会
1.25 ●富山県鉄工業協同組合新春懇談会
1.27 ●自民党政調会
1.30 ●自民党政調会、同役員会●富山市ゲートボール協会理事会
1.31 ●自民党県連支部長幹事長会議●伊藤亨叙歓賞受祝賀会
2.3 ●自民党政調会●富山ライオンズクラブ例会
2.4 ●自民党議員会●自民党政算折衝
2.5 ●自民党政調会
2.8 ●長勢基遠・野上浩太郎・笹木豊一国政報告会(太田)
2.12 ●富山市日中友好協会理事会●山室中部校下役員会
2.14 ●富山県左官業組合総会●富山県嵩工業創立30周年祝賀会
2.15 ●都市との交流シンポジウム
2.16 ●新幹線・総合交通対策特別委員会
2.17 ●自民党政調会
2.19~20 ●農林水産部会視察(滋賀県、京都府)
2.21 ●中川ただあきを支える女性の集い●自民党常任総務会
2.23 ●自民党政調会●自民党正副部長会
2.24 ●県政報告会(天正寺)
2.25 ●商工労働常任委員会●自民党政調会
2.27 ●2月定期会本会議(提案理由)●自民党議員会●MOA議員連盟
2.28 ●富山市ゲートボール協会理事会●富山県日中友好協会総会
2.29 ●中川ただあき後援会家族ふれあいボーリング大会
3.1 ●市町村合併に伴う県議会議員選挙区等の変更に関する制度の勉強会
3.2 ●富山ライオンズクラブ例会
3.3 ●本会議(代表質問)
3.5 ●本会議(一般)●忠政会経済
3.7 ●自民党山室支部定期総会●太田中区総会
3.8 ●本会議(一般)●自民党政調会
3.9 ●自衛隊入隊予定者激励会
3.10 ●本会議(一般質問)●議会運営委員会
3.11 ●自民党政調会●H16年富山新聞・芸能賞・スポーツ賞・受賞祝賀会
3.12 ●予算特別委員会(本・質問)
3.13 ●富山市ゲートボール決算理事会
3.14 ●中川ただあき親戚の会●高森ひろし世話人会
3.15 ●予算特別委員会●ネバール・ムスタン地域開発協力会富山県支部総会
3.16 ●富山ライオンズクラブ例会
3.17 ●予算特別委員会●山室中部校下小学校卒業式
3.18 ●常西用水土地改良区総代会
3.19 ●本会議(総括質問)
3.20 ●自民党富山市連県議・市議・支部長・幹事長会議
3.21 ●中川原防火座談会
3.22 ●自民党政調会●商工労働常任委員会●議会運営委員会
3.23 ●自民党政調会●本会議(採決)
3.24~25 ●東京
3.26 ●北日本政経懇話会
3.27 ●長崎壹一氏ライフスタイル賞受祝賀会
3.28 ●中川原町内総会●「ゆりかごの里」竣工式
3.29 ●高屋敷川河川総会・●大宮町総会
3.30 ●中川ただあき後援会代表者会議
4.3 ●富山県橋梁塗装防食協会総会
4.4 ●中川原高砂会総会●長勢基遠・野上浩太郎議員の国政報告会(山室)
4.5 ●富山市ゲートボール協会総会●高友会定期会
4.6 ●自民党政調会●富山ライオンズクラブ例会
4.7 ●山室中部校下入学式
4.8 ●山室中部校下入学式
4.9 ●富山市役所陳情
4.10 ●上千俵グリーン会

- 4.11 ●18歳の会ゴルフ大会
4.12 ●自民党政員会●H16年度富山県OB総会
4.13 ●北日本政経懇話会
4.14 ●自民党正副部長会長会議●睦友会時局講演会
4.15 ●実践倫理大会●富忠会
4.17 ●田中実富山新聞スポーツ賞受祝賀会
4.18 ●桜鶴会ゴートボール大会●山室中部自治振興会総会
4.19 ●富山市木センター陳情●自民党政調会
4.20 ●富山ライオンズクラブ例会●山室中部遺族会総会
4.21 ●富山県議会富山市域協議会
4.23 ●国営農地防災常陸寺川沿岸地区総会
4.24 ●地すべり対策技術協会富山県支部総会
4.25 ●自民党政員会●自民党政経文化パーティ
4.26 ●幸友会ゴルフ大会
4.27 ●自民党政勧強会●自民党政調会
4.29 ●町村民民ゴルフ大会
4.30 ●古沢用水土地改良区出来検分
5.6 ●かわい・常則後援会設立総会
5.7 ●H16年度日中友好富山県地方議員連盟総会
5.8 ●富山県自家用自動車協会連合会富山地区総会
5.10 ●グリーンキャスター事業(協)総会
5.11 ●H16年度NPO日本・ラオス総合協力協会定期会●天政会懇談会
5.12 ●富山県農林水産部会●自民党政経文化パーティ
5.13 ●富山県モングル友好親善協会総会
5.14 ●自民党政員会●議会運営委員会●水橋家庭菜(協)日配商分所総会
5.15 ●富山市測量設計業セミナー総会
5.16 ●博百合会県政報告会●自民党水橋上条支部総会
5.17 ●疋ヶ丘グリーン会ゴルフ大会●らいちょう会総会
5.18 ●自民党政調会
5.19 ●白岩川・松川・いた川改修促進期成同盟会合同期定総会
5.20 ●富山県生活衛生同業組合通常総会●富山県飲食業同業組合総会
5.21 ●富山県自家用自動車協会理事会
5.22 ●専門工事業協議会懇談会
5.23 ●山室小学校・山室中部小学校運動会
5.24 ●富山ライオンズクラブ年次大会・国際大会
5.25 ●太田小学校運動会●中川ただあき後援会総会
5.26~27 ●人間ドック
5.27 ●自民党政調会
5.28 ●自民党正副部長会議●自民党政調六部会・友好団体懇談会
5.29 ●水と土のふれあい塾(植え)●かわい・常則事務所開
5.30 ●ルンビニ園との植え(富山ライオンズクラブ)
5.31~6.2 ●仲外喜雄氏県議会副議長就任祝賀会●五本幸正後援会総会
6.3 ●自民党政農水部会视察(岐阜・静岡県)
6.4 ●自民党政調会●商工労働常任委員会
6.5 ●H16年度富山県外港建設促進期成同盟会他
6.6 ●ライオンズ複合年次大会●富山力ナダ協会総会
6.7 ●中川原生産組合研修会●高友会総会
6.8 ●自民党政員会●本会議(提案理由)
6.9 ●本会議(代表質問)●耕友会OB総会
6.10 ●自民党職域支部・各種団体代表者会議
6.11 ●本会議(代表質問)
6.12 ●第51回富山市連・第9回富山県第一選挙区支部定期総会
6.13 ●自民党役員会●本会議(一般質問)●議会運営委員会
6.14 ●富山ライオンズクラブ例会
6.15 ●6月定期会本会議(提案理由)
6.16 ●商工労働常任委員会●議会運営委員会
6.17 ●浩友会総会●自民党富山県参議院選挙区第一支部総会
6.18 ●自民党政調会●自民党政員会●本会議(採決)
6.20 ●富山地区操方大会
6.21 ●長政会総会
6.24 ●かわい・常則出陣式
6.25 ●常西用水土地改良区理事会
7.11 ●第20回議院議員選挙投票日(河合常則氏見事初当選)
7.13 ●山室中部町内会長会議
7.15 ●常西用水土地改良区臨時総代会・同土地改良区水神社例祭
7.16 ●自民党政員会●新潟大学農学部富山県支部同窓会総会
7.17 ●海上自衛隊艦レセプション
7.18 ●第9回青年の船25周年祝賀会
7.20 ●富山ライオンズクラブ例会
7.21 ●北日本政経懇話会
7.22 ●富山県建設専門工事業総会●オイスカ通常総会
7.23 ●県道富山立山線促進期成同盟会総会
7.24 ●富山市重要要望説明会及び懇親会
7.24 ●中川ただあきと語る夕涼み会

新任のごあいさつ

一年をおいて最も暑い時期を迎えていますが、会員の皆様には、ご健勝でお過ごしのことと存じます。先の第6回総会において、北野申喜前会長の後任として、皆様のご推薦により、新会長の大役をおおせつかり、その責任の重さを感じております。未熟者ではございますが、皆様の期待に少しでも近づけるよう、努める所存でございます。前会長同様に力強いご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。中川ただあき議員も二期6年目を迎え、更に、県政での活動の場も幅広く、責任の重い立場で、元気に頑張っています。後援会と致しましても、より一層組織の拡充強化を図り、積極的な活動を展開して行きたいと考えております。会員皆様の変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。



わらぬご支援とご協力を
お願い申し上げます。
新後援会長
堀田 敏夫

退任のごあいさつ

暑い夏になりました。皆様方にはお元気でお過ごしのことと思います。昨年4月の県議会選挙には、中川ただあきの2期目の挑戦に、皆様方から絶大なご支援をいただき見事な成果を上げることが出来ました。改めて厚く御礼申し上げます。

さて、私こと後援会長としての役目を、この2期目の成果を最上のお土産として、このたび堀田新会長に引き継ぐこといたしました。去る5月23日の後援会総会においてお計りしたところ、私の勝手な言い分に対し、ご出席各位の有り難いご理解、ご賛同をいただきましたことを厚く御礼申し上げます。後援会長として足掛け6年間、皆様方にご迷惑ばかりおかけしましたことをお詫びいたします。

新会長の堀田敏夫さんは、長らく富山市の行政に携わっていらっしゃれた方であり、後援会長として最適な方だと思います。後援会活動に対する、これからも会員各位のより一層のご支援ご協力を新会長の

もと活躍されますよう願いいたします。
終になりましたが、これからも皆様方がますますご健勝でありますようお祈りいたします。
そして、退任のご挨拶をいたします。

前後援会長 北野 申喜

いっしょに創ろう、
心豊かな社会



中川ただあきシンボルマーク主旨
熱い想いで、心豊かな地域づくり、
県づくりに全エネルギーを傾注する
私自身の姿を、中川の頭文字「T」を
モチーフに表現。手足を大きくひろげ、
元気に活動する姿と重ね合せました。

中川ただあきの主な役職

- 議会運営委員会委員 ●商工労働常任委員会委員
- 新幹線・総合交通対策特別委員会委員
- 自由民主党政務調査会副会長
- 自由民主党農林水産部会部員 など

中川ただあき後援会事務所

〒939-8015 富山市中川原368

TEL.076-425-1924/495-8739

FAX.076-425-1971

<http://www.tadaaki.jp/>

あなたの意見やアドバイスをお待ちしています。

★Eメールアドレス★

nakagawa@tadaaki.jp



中川ただあき後援会総会



中川ただあきを支える女性の集い



忠政総会



中川ただあき後援会 家族ふれあいボーリング大会

- 7.25 ●高森ひろし後援会総会
7.26 ●自民党政調会朝勃強会
●富山県農耕親善友好議員連盟総会
7.27 ●自民党政調会
7.30 ●立山カルテラ視察(富山中部土地改良区)
●月岡後援会役員会
7.31 ●山室、山室中部ふれあい夏のフェスティバル